

会 議 録

会議名		令和4年度第3回図書館協議会	
事務局		図書館	
開催日時		令和4年9月16日（金） 午後2時～午後3時40分	
開催場所		図書館本館 地階集会室	
出席者	委員	大串委員、大塚委員、川井委員、高橋委員、諏訪委員、大久保委員（オンライン参加）、林委員（オンライン参加）、伊東委員、奥村委員、藤森委員	
	欠席者	なし	
	事務局	内田図書館長、中島庶務係長、香川奉仕係長	
傍聴者の可否		可	傍聴者数
			0
傍聴不可・一部不可の場合はその理由			
会議次第	<p>1 議題</p> <p>(1) 図書館協議会の会議録の承認について</p> <p>(2) 令和4年度図書館協議会視察について</p> <p>(3) 令和4年度三者合同会議について</p> <p>(4) 小金井市立図書館基本計画の進捗管理について</p> <p>(5) その他</p>		

令和4年度第3回小金井市図書館協議会

令和4年9月16日

【大串会長】 定刻となりましたので、ただいまから、令和4年第3回小金井市図書館協議会を開会いたします。

まず、図書館長から挨拶をお願いします。

【内田館長】 皆さん、こんにちは。着席で失礼いたします。

本日、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

実はこの間、8月には私と奉仕係長が順番でコロナにかかって自宅待機するようなことになりまして、個人的には大変な思いをしたんですけれども、皆様、お気をつけいただきたいと思いますが、本日に関しましても、今までどおりコロナ対策万全でやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

今日も皆様の貴重なご意見を賜ればと思っておりますので、どうぞお願いいたします。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。

それでは、出席者と資料の確認について、事務局からお願いします。

【内田館長】 事務局から報告させていただきます。

まず、本日の出席者ですが、本日は委員定数10人中、皆さん10人のご出席となっております。林委員と大久保委員に関しましては、オンラインで参加いただいております。オンライン参加につきましては、通信環境の点から音声のみとさせていただきます。ご了承ください。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。お手元の次第の下の配布資料というところで一覧を記載させていただいております。資料の不足がございましたら、事務局にお申しつけください。

【大串会長】 よろしゅうございましょうか。

【内田館長】 それでは、会長、よろしく申し上げます。

【大串会長】 分かりました。

それでは、お手元の次第に従って進めたいと思います。

まず、議題の1の図書館協議会の会議録の承認についてを議題とします。

事務局からお願いいたします。

【内田館長】 前回の協議会会議録につきまして、委員の皆様には校正いただいたものを本日の会議資料としてお配りさせていただいております。事前にご確認はいただいておりますが、改めまして、本日の会議の場においてご承認をいただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

【大串会長】 ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありました。会議録について、承認でよろしゅうございましょうか。

(「異議なし」の声あり)

【大串会長】 ありがとうございます。それでは、承認と認めます。会議録の公開などは事務局で作業を進めていただきたいと思っております。

それから、議題の2の令和4年度図書館協議会の視察についてを議題としたと思います。

事務局から説明等をお願いいたします。

【香川奉仕係長】 今年度の図書館協議会の視察先は小平市立中央図書館に決定しているところなんです。先方といろいろ日程のやり取りをさせていただきました。皆様にもメールでご案内させていただいたところなんです。10月26日水曜日の午後、11月25日金曜日の午後ということで皆さんにお諮りさせていただいているところです。

ちなみに11月25日金曜日は、先方が休館日になっていまして、もしかしたら部門によっては担当の方がいらっしゃらないこともあるので、そこはご了承くださいということをお願いしております。

皆さんにメールさせていただいて返信をいただいているんですけども、ほぼ10月、11月で同数になっています。この場で日程を決めていただければなと思っております。また、先方に事前に質問事項を送らせていただければと思いますし、日程が決まったとしても来られない委員さんもいると思っておりますので、質問事項をメールでいただければと思います。先方にも早めにお伝えしたいなということもありますので、1週間猶予をいただきまして、9月23日金曜日、ちょうど1週間後ぐらいまでには皆様からメールをいただければと思いますので、

よろしく願いいたします。

それでは、日程はほぼほぼ同数というところなんですけれども、10月、11月か、ご議論をしていただいて決めていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

【大串会長】 1つだけ質問なんですけれども、図書館協議会の日にちをこれに充てるということはあるんですか。図書館協議会はちゃんと開いて、別にこれを設定するという。

【内田館長】 当初、皆様にお諮りさせていただいた第1回のところでは、11月18日が第4回協議会ということでお諮りさせていただいたんですが、多分そのときに申し上げたかなと思うんですけれども、もし視察に今年度行かれる場合に関しては、第4回を協議会というところで当て込ませていただいて、例えば過去においては、行きのバスの中でやっていたりとかいうこともあるのですが、第4回が今回の視察に当たってくるという位置づけには置いております。

【大串会長】 なるほどね。そうすると、緊急に我々に諮らなきゃいけない事態が発生したら、このときにやればよいということになるかな。

【内田館長】 手続を今後踏んでいかないといけないので、これは後日改めてメールでお知らせさせていただきたいとは思っておりますが、1点、場合によって皆様に、バスに乗る前にここにお集まりいただいて、諮らせていただきたいことが1点だけもしかしたら出るかもしれませんので、その際はいずれにせよ、まだ今の段階ではなかなか申し上げられないんですが、メールでお知らせをいたしたいと思います。

【大串会長】 分かりました。

それでは、皆さんにお諮りしたいと思うんですけれども、10月26日の水曜日の午後か、11月25日の金曜日の午後、どちらがよろしいということなんですけれども、何かございますか。私は特別に11月がいいとか、10月がいいとか、そういう方があれば、出席できないという方も半々ぐらいいらっしゃるというので微妙な感じなんですけれども、どうですか。個人的な意見でも。

【中島庶務係長】 チャットで大久保委員からは、11月25日のみ出席ができるといただいております。

【大久保委員】 すいません。10月は仕事のシフト上、動かせないなので、1

0月の場合は事前質問という形で送らせていただきます。よろしくお願ひします。

【大串会長】　でも、視察のときは、向こうのお客さんがいないほうが、僕の経験から言えば、ずっといいんですよね。それはどうしてかという、どうしても写真を撮りたいとかそういうことがあった場合、向こうにお客さんがいらっしやると、人が入らないようにとか、そういういろいろな制限が入って、事によると駄目だと言われるところもあって、そういうこともある。写真を撮れないと残念ということになるんです。ただ、担当者が不在だということもあるんだけど、視察させていただくほうとして見ると、いらっしやらないほうがいろいろと細かく見られるということがあるんですね。例えば、この椅子どうとか、このところはどうしてこうなっているのとかね。いろいろ質問もしやすい。それから、あまり大きな声をかけられないというのもあって、案内する担当者がこそと話す感じになっちゃうんです。そうすると、ほかに委員の方がいらっしやっても、その人とその周辺の何人かしか聞こえないので、ほかの人はよそ見しているみたいな、集中度は低下すると思うので、僕としては、11月25日のほうが経験上はいいかなという感じがするんですよね。

個人的には11月25日のほうが、講演とかが全部終わっているの、10月のほうがちょっと厳しいということはあるんですけども、それは外しておいて、今までの視察や何かの経験から言うと、25日が。

【大塚委員】　普通に例えば図書館大会で県立図書館なんかの見学なんかも休館日にやっているところが多いです。そうすると、例えば今だと雑誌のスポンサー制とか、医療情報のコーナーとかも、本当に好きに写真を撮れるので、外国なんかも同じで、外国に出張したときは、朝の開館前の時間帯を指定されて、まずここに来て写真を撮ってください、職員の説明はここですみたいにスケジュールを組まれることもよくあるので、視察される側からしても、休館日のほうがもしかするといいのかなとも思うんです。ということで、私は委員長に賛成です。

【大串会長】　どうぞ。

【川井委員】　個人的な事情で言えば、私は11月25日は学校の行事と重なって参加できないんですけども、もし都合つくつかないが半々であるならば、今委員長がおっしゃったような理由で11月にさせていただいて構わないと思ひ

ます。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。ほかに。どうぞ。

【奥村委員】 個人的には、仕事の調整をしないといけないので、どちらになってもこれから調整というところなんですけれども、図書館についての見学というところでは不慣れなので、何度も見学されていて、こういうふうな利点があるというところであれば、11月のほうで賛成かなというふうに、今の川井委員と同じような意見です。

【大串会長】 ありがとうございます。ほかにはどうでしょうか。

特に反対がなければ、11月のほうにさせていただこうと思うんですけれども、いかがでしょうか。

では、11月25日ということで、詳細はまたお知らせいただくとして。

それで、質問事項とございましたけれども、これは1週間後まで。

【香川奉仕係長】 1週間後に事務局にメールでいただければと思いますので、お願いいたします。

【大串会長】 なるほど。事務局としては、小平のほうの視察する図書館のこういうところは皆さんに見ていただきたいとか、そういうのはあるの？

【香川奉仕係長】 小平市さんですと、地域資料のデジタルアーカイブですとか、多言語の多読のところに力を入れているコーナーがあったりですとか、結構幅広くやっているところがあります。特に中央館というところは広さもあるんですけれども、いろいろな取組をしています。あと、宅配をボランティアさんを使ってやっていたりするので、宅配は高齢化社会になって小金井でも取り組みたい事業なので、ボランティアさんとの協力の仕方だったりとか、そういったところも事務局としては注目しているところがあるので、そこは聞いてみたいなと思っています。委員の皆様にもぜひともいろいろなことを聞いていただければと思います。ホームページを見ると、どういう活動をしているのかというのが分かりやすく書いてあるので、それは小金井でも参考にしたいなと思っているところなんですけれども、一度ホームページをご覧ください、気になる点があったらその旨、事務局までいただいて、質問をしていこうかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

【大串会長】 障がいのある子どもさん向けのがあるんですね。あそこは多摩の図書館の中でも公民館との関係を早くから深く持って、多摩の図書館は公民館と距離を置くところも結構あるんだけど、あそこはそうじゃなくて、積極的に地域的な観光資料とかいろいろなことも関係を持ってやってきた経緯があって、そういう意味では非常にいいかなと思うんですけども。

どうぞ。

【藤森委員】 見学する時間は何時間ぐらいでしょうか。

【香川奉仕係長】 11月25日という日程になりました。先ほど館長も言いましたけれども、最初ここに集まっていたいただいて、図書館協議会を少し開催させていただくとすると、あちらに2時から2時半の間に着いたとしたら、長くても2時間ぐらいになっちゃうかなとは思いますが。3時間も多分、なかなか相手方もあるので、おおよそ2時間程度かなと。午後ならいいよといただいているんですけども、最初こちらに集まっていたいただいて、ちょっとこちらの話もさせていただいてというところもあって、そうすると、そのぐらいかなと思っています。

【藤森委員】 図書館って、全体、すごくいろいろなジャンルがありますけれども、2時間ですと、全部は見られませんよね。行く前に、例えば科学物とか、子供物とか、いろいろなジャンルがあるけれども、集中的にある程度決めていったほうがいいんじゃないかなと思うんです。

【香川奉仕係長】 まず事前質問をいただくと、おのずと皆さんが気になっているところが浮かび上がってくると思うんですね。そうすると、皆さんがまず見たいなところをまず集中的に見させてもらうようなことで、先方と調整したいなと思いますので、そういった意味で、1週間で見たいところ、聞きたいことを教えてくださいという趣旨もございますので、ぜひお寄せください。

【藤森委員】 分かりました。ありがとうございます。

【大串会長】 ありがとうございます。ほかにございますか。

なければ、それでは視察日は11月25日ということにさせていただきますので、よろしく願いいたします。

大久保委員、林委員、そういうことになりましたので、よろしく願いします。何かございますか。

【大久保委員】 すみません、1つ確認です。18日金曜日の協議会を25日、

視察の出発前に短めに行くということで、18日は会合としてはなしということですね。

以上です。

【内田館長】 視察というところで充てていきますので、18日が25日になった、それは視察が目的ということになったとお考えいただければと。18日はなしです。

【大久保委員】 分かりました。ありがとうございます。

【林委員】 林でございますが、その日は授業はありませんが、秋は入試のシーズンでございます、会議が入る可能性も高く、現状においては業務多忙のため出席は難しいという感じですので、出席できるかどうかの回答は控えさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。

【大串会長】 ありがとうございます。よろしく願いします。

【伊東委員】 そうということだと、私も25日、授業がありまして、欠席をさせていただきたいと思っています。

【大串会長】 もうそれはしょうがないです。私も大学の教員だったものから、ちょうど忙しい時期に入りますよね。これからずっと来年の3月まで、何かと大学教員は拘束がかかるということで、突然かかることもあったりなんかして、そういうことなので、ぜひひとつよろしく願いします。

ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、集合時間だとか集合場所とか、めりはりをつけた視察ということで、後日、事務局からメールで連絡がいただけると思いますので、ひとつよろしく願いします。

それでは、次の3番目、令和4年度三者合同会議についてということで、議題にいたしたいと思います。

これについて事務局からご説明をお願いいたします。

【中島庶務係長】 すみません、こちら、小金井市の生涯学習部のほうで、公民館と生涯学習課、社会教育委員の会議と公民館運営審議会とこちらの図書館協議会、こちらの三者の合同会議を毎年開かせていただいております。今年度につきましては、幹事という形で図書館協議会が主となって実施をしていく年度となっております。

事務局からの提案なんですけれども、この11月は視察という形になりますが、年間予定で2月10日、図書館協議会の5回目を予定しておりました日に合わせまして、三者合同会議を開かせていただければ、委員の皆様はお手間が一度で済むかなと事務局としては思っております。もしご異論、ご意見等なければ、まずはこの日程で社会教育委員の会議や公民館運営審議会の2つの協議会と調整をさせていただければと考えております。

事前に大串会長には三者合同会議上でのご講演というか、そういったお話をいただきたいという形でお話もさせていただいておりますので、図書館にちなんだテーマでの講演、あとは公民館運営審議会の委員さん、社会教育委員の会議の委員さんとの座談会というか、お話しする時間をお取りするような考えでおりますが、皆様、ご都合等はいかがでしょうか。

【大串会長】　　まず、日程のことですな。

【中島庶務係長】　　そうですね。2月10日にちょうど年間の会議開催予定を入れておりますので、昨年度も2月、3月に開催をしたと伺っておりますので、ちょうど1年間ぐらい間が空いて、もう一度2月に開かせていただくのはいかがかなという次第でございます。2月10日金曜日。

【大串会長】　　だけど、合同会合を例えば1時から3時までやって、その後、3時から4時ぐらいまで図書館協議会をやるという感じなんですか、イメージとしては。あるいはその逆なのか。

【中島庶務係長】　　どちらを先にやるかというのはまた調整かなと思ってございますが、お集まりいただきます時間帯というか日にちを1つにまとめてしまったほうが、皆様のスケジュール的には複数日を取らずに済むかなというのが今のところの事務局案でございます。なので、2月10日の午後のお時間帯で、こういった形で協議会の時間と三者合同会議という時間を同時に取れるといいのかかなと思ってございます。

【大串会長】　　それと、この2月10日というのは、今調整とおっしゃったけれども、2月10日に一緒にやっちゃおうということをこちらで決めて、2月10日にやりたいとほかの2つの組織に諮って、いや、それは駄目だということになった場合とか、そういうのはあるんですか。

【中島庶務係長】　　程度によるかなとは思ってございますが、いずれにしても

3つの会議体の委員さんを合計しますと、かなりの人数になりますので、全員が全員、100%のご参加の日の調整には恐らくならないだろうと思ってございますので、いずれにしても、まず今日、方向性をいただきましたら、生涯学習課と公民館の両会議体の事務局をやっているところに調整の確認を進めていければと思っております。

【大串会長】 分かりました。

では、まず皆さんにお諮りするの、2月10日で、図書館協議会の日と合同会議を一緒の日にしていいかという、これですな。

【中島庶務係長】 はい。

【大串会長】 ご意見いかがでしょうか。分けたほうがいいというご意見と、一緒にやろうというか、どうですか。

【大久保委員】 昨年、図書館協議会で出席してまして、コロナ感染予防のため早めに終わろうという雰囲気、1時間半ぐらいで合同会議が終わったように記憶しています。場所は市役所の上の広めの会議室でした。ですので、仮に2月10日に協議会と三者合同会議をセットで行うのであれば、一番ロスが少ないのは午後の1時開始で4時ぐらいまでの間で、こちらの都合になるんですけども、前半に合同会議をやって、閉会した後に、ちょっと短めになってしまうかもしれないんですが、協議会をその場所で行うということであれば、約半日で同じ場所で、私たちの移動も少なくできるのかなと思いました。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。どうぞ。

【奥村委員】 一緒の日にしてもらえると助かりますというぐらいの個人的な意見です。

【大串会長】 ありがとうございます。ほかの方いかがでしょうか。

【川井委員】 私は逆に10日にまた行事があって参加できないんですけども、一緒のほうが皆さんの大切な時間を削らなくて済むので、申し訳ありません、欠席する者がそういう言い方をしているかどうか分かりませんが、一緒にやっていたほうがいいと思います。

【大串会長】 ありがとうございます。

【伊東委員】 私も全く同じで、授業があって出られないんですけども、皆

様、1日でやられたほうがよろしいというのはそのとおりだと思います。よろしくお願ひします。

【林委員】 すみません。よろしいでしょうか。

【大串会長】 どうぞ。

【林委員】 申し訳ありません。私もその日、入試の教授会が入っているので出席できませんが、同じ日のほうが委員の皆様方、ご都合がいいのかなと思います。

以上でございます。

【大串会長】 ありがとうございます。大学の関係の方は、やっぱり2月10日とかは……。

どうぞ。

【大塚委員】 質問ですが、こちらにもオンライン聴講とかオンライン出席とかを設定されるのでしょうか。

【中島庶務係長】 図書館協議会の委員の皆様については、この4月以降、この形で、林委員や大久保委員にオンライン参加いただいている形を取らせていただいています。三者合同会議については、ほかの2つの協議会の委員さんも関係するので、まだ未調整ではあるんですけども、機器自体の確保が取れば、この状況の環境は整えられると思っております。本当に嫌ですよ、お金がない小金井市でこの大型集音スピーカーが1台しかないんですよ。なので、これをいろいろな部署で予約をして取り合っている関係で、日程が決まったところが、きちんとこういう機器の空きも確保できればご用意できるという形で、現時点のお答えとさせていただきます。なるべく調整して、こういう環境が整えられるようにしたいと思っております。

【大串会長】 分かりました。ありがとうございます。

どうぞ。

【藤森委員】 図書館協議会として、これから先、みんなで話し合って何かを決めていくという大きな問題があるのかどうかということが1つ私は気になりまして、というのは、小平の視察のときも、先にちょこっとだけ協議会をやる、それから、三者合同のときも後にちょこっとやる。そうすると、図書館協議会としての何か問題を解決するための会議というものがすごく削られると思うんで

すよね。ただでさえ図書館協議会は、1年間に開かれる回数がほかの三者のところと比べても少ないので、大きな問題とかが控えていないんでしたら大丈夫かなということがちょっと気になりました。

【内田館長】 先ほどのスケジュールでも1時から4時で、1時間半だとすれば2時半とか、2時間ぐらいは第5回の協議会の時間を取れるのかなと思いますので、それであれば通常の協議会と同じ時間になりますので、同日でやってもさほど影響はないのかなと考えております。

【藤森委員】 ありがとうございます。

【大串会長】 ありがとうございます。

どうぞ。

【奥村委員】 大学とかの状況は分からないんですけども、2月10日をずらせばいいという感じか、それともその時期がやっぱり忙しいという形。参加ができないというところが、日をずらせばいいような感じなのか、その時期というところだったら、もうそれは仕方ないかなと思うんですけども、どんな感じなんでしょうか。ずらすことは可能だったりとか、その時期はというところなのか、参加できる日がもしあったりして……。

【大串会長】 いや、大学の先生方は、要するに、卒業査定があって、その後ぐらいがそれなんだよね。そうすると、海外に行く子供たちに電話をかけたりいろいろして、3月まで長引くんだよね。だから、大学の先生方は、今お二人がおっしゃっていただいた状況はそれほど変わらないと思います。

【奥村委員】 分かりました。すみません。

【大串会長】 だから、大学の先生方には申し訳ないんですけども、この時期本当に忙しいんですよ。多分、3月中旬ぐらいまではかかるんですよ。突然の問題がいろいろ発生するときもありますし、私もその経験からそういうふうにするので、その辺はちょっとあれなので、それは置いて考えていただいてもよろしいかと思います。大学の先生には申し訳ないんですけども。

【奥村委員】 分かりました。

【大串会長】 そういうことで、状況を見ながら事務局でご判断いただいて。

【諏訪委員】 ちょっといいですか。

【大串会長】 どうぞ。

【諏訪委員】 三者合同会議でオンラインと言われているんですけども、私の記憶では、グループディスカッションみたいにグループに分けて、たしか前回だと5つぐらいに分けてやるといったときに、オンラインでうまくいきますでしょうか。要するに1つのこういう会場であれば、つないで問題ないんですけども、例えば5つグループがあって、それぞれにオンラインの方が参加すると、素人考えですけども、物理的に可能なのかなという疑問なんです。

【中島庶務係長】 それも含めて調整かなと思っています。

【諏訪委員】 そうですね。ちょっとご検討いただいたほうが、回線が1本でつないでいるとすると、ちょっと難しいんじゃないかなという。

【中島庶務係長】 なので、基本的に同じようなやり方を取れば、グループに分かれて個別の小グループでのお話合いをしたいという形を次の会で取るとしたら、回線は恐らく足りなくなるので、合同の部分についてはオンラインの対応ができる、そういった個別のグループについては、申し訳ございませんができないという形になるかなと思っています。そもそも全体の合同のところも、今お話しいただいたものですから、次の三者合同会議のやり方を社会教育委員の会議のほうや公運審のほうと調整するとき、そもそもこれは対応できる委員が少ないからあまりやらないでほしいという意見が出るかもしれないですし、そこはまだ未調整です。なので、いただいたご意見、小さいグループのところは難しいんじゃないかというのは事務局もそういうふうに思っていますので、調整の中で話を進めていければと思います。

【諏訪委員】 分かりました。

【大久保委員】 今、書き込みしたんですけども、長い目で見ると、将来性があるのでチャレンジするきっかけに、コロナ前、ウイズコロナという中での取組ともう少し幅広く捉えて、機器とオンライン会議に詳しい方がいるかどうかですが、そういうところを開拓していくためにも、ここで問題提起も含めて、こういう意見が今回の三者合同会議の持ち方について意見が出ていますよということは大事なところかなと思います。

自分の活動しているところでも、オンライン同士での話ですけども、ファシリテーターとなる詳しい方がいらしたりして、ブレイクアウトルームといって、例えば30人いたらそれを5人に分けてグループをつくって、15分したらま

た元に戻るみたいな、そういういろいろな機能があるので、オンライン上でもある程度グループの意見交換ができたりもします。ただ、会場にいる方とオンラインの人が交わるというのは難しいところもあるのかなと思うんですが、講演のところだけオンラインで聞いていただくとか、いろいろな形があるかと思うので、ぜひ社会教育委員の会議ですとか公運審の方とも意見交換をしていただければ、お互いに同じようなことを思っていることもあるかもしれないので、よりいい準備になるのではないかなと思います。どうぞ無理のないようによろしくをお願いします。

以上です。

【大串会長】 貴重なご意見、ありがとうございます。

【高橋委員】 よろしいですか。

【大串会長】 どうぞ。

【高橋委員】 多分、三者合同は第二庁舎の8階になりそうですよね、場所としては。

【中島庶務係長】 日程等をどうするかによりますけれども、あその会議室が1か所しかないのも、もしそこが難しいようだったら、次に広い会場は実はこちらの集会室のほうが広がったりするので、もしかしたらここを使うかもしれないです。入る人数とかによっては、第二庁舎の8階の801会議室じゃないところを確保するかもしれないです。

【高橋委員】 第二庁舎の8階で会議をしたときに私いたんですけども、なかなか通信が繋がらなくて、会議がすごく止まってしまったというか、始まらなかったことがあるんですね。

【中島庶務係長】 それは別の会議体ですか。

【高橋委員】 別の会議体です。それで、結局、オンラインが繋がらないことによって会議ができなくて、みんな待っているという状態になってしまったので、そこはちゃんとできるように準備をしてからやるとか、難しいようでしたら、残念ですがオンラインは諦めるとか、それによって時間延長がとても私は気になっています。

それともう一つ、班の会議のとき、私も前回出たんですけども、ほかのグループの人の声が騒がしくて、自分のグループの中の話合いが聞こえなかった

んですね。マスクもしていますし。せっかくいいグループで話し合いをしたかったんですけども、なかなか聞こえづらいという残念な状態がありましたので、こちらのほうも、もしグループ討議をするならば、改善していただければありがたいかなと思います。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。

【大久保委員】 今のご意見を聞いて私も思い出したんですけども、去年参加していたときに、確かに声が聞こえなかったですね。多分、時間的には20分ぐらいのグループでの意見交換みたいな形で、最後にまとめを発表しておしまいということだったので、軽く意見交換ができればオーケーなのかなとは思いますが、それにしても、やはり騒がしかったなというのがあります。

例えば宮地楽器ホールの小ホールですとか、違う会場でやるという可能性はないのでしょうか。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。それはちょっと調整するというか、いろいろ勘案していただいて、できるだけいい環境で開けるようにするということですね。

どうぞ。

【藤森委員】 図書館の貫井北分室で大勢で会議というか、講演とかそういうのをやる時も、ネット環境はすごくいいです。場所も広いので、図書館の中の1つですので、日にちが合うかどうか分かりませんが、貫井北も使えるかなと思います。

【大串会長】 なるほど。その辺も勘案していただいて。

ほかにはいかがでしょうか。特になければ、いろいろ事務局にこれから考えていただくということで、日程は取りあえず2月10日ということで、図書館協議会もその日に決定するという、そこはそこまでということで、それ以外のことはこれから調整をしていただくと。それから、会議の進め方とか、場所ですとか、通信環境とか、その辺もいろいろ勘案していただいて検討していただくということでいきたいと思いますが、よろしゅうございましょうか。

それでは、その次に進みたいと思いますけれども、4番目の小金井市立図書館

基本計画の進捗管理についてに進みたいと思います。

まず、図書館からこれについて、ご説明をお願いしたいと思います。

【香川奉仕係長】 図書館基本計画の進捗管理につきましては、こちらの基本計画の第5章で触れさせていただいているものになります。毎年度事業の評価ということになりまして、毎年行っていければなと思っております。

一次評価としまして、図書館が行います。その評価を踏まえて、二次評価として図書館協議会の委員の皆さんに評価していただければと思っております。こちらの基本計画は令和4年から令和8年までの期間ですので、基本計画上の進捗管理としまして評価するのは、令和5年に入ってからということになります。ですので、今年度中に評価のフォーマットですとか、参考となる指標等は固めていく必要がございます。ですので、今回、皆さんに資料としてお配りしたのは、小金井市の図書館、令和3年度版、これを基礎資料としまして、令和3年度事業を4つの基本方針に落とし込んで評価をしてみました。各方針の施策ごとに、まず、事業の結果を羅列しております。それらの事業をまとめて、方針ごとの成果というのをまた列挙しております。

本当だったら、事業を行った結果、生じた変化とかがあれば、いわゆる成果として書かせていただきたいんですけども、ただ、そうそう1回やっただけでは、何か目に見えて変化が起こるといのはなかなか難しいかなというところもあるので、今回評価として書かせていただいたのは、特にこれに力を入れたよというような事業ですとか特徴的な事柄を振り返っています。ですので、事業の結果と基本方針に対する成果というものは、重複して書いてあるところも一部ございます。

貸出冊数ですとか、単に数字を追いかけるような定量的な評価から定性的な評価を行いたいなと思ってます。ただ、各方針ごとに評価するに当たって参考になるかなというような指標も一応、令和3年と令和2年で書かせていただいております。

事業を振り返らせていただいて、一次評価を実施しているところなんですけれども、一次評価のところは、特に次年度こういったところを取り組みたいなですとか、次年度以降もここは研究していくということも含めて、図書館の一次評価ということで評価させていただいております。

委員の皆様には、めくっていただいて一番下の二次評価のところにご意見をいただければと思っておりますので、この情報量で足りるのか否かですとか、また、この評価は公表していく予定になっているので、なるべく見やすいようにコンパクトに作っているところです。ですので、シートの見せ方とかも含めてご意見があればいただいて、皆様からのご意見を集約して、年内の協議会までには完成させたいと考えております。

今回は、まずこういうフォーマットを作りました。私たちが当て込んでみました。ちょっと見ていただいて、皆さんが評価しやすいような流れ、情報量というところをご意見いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。それでは、今のご説明に基づいて皆さんのご意見をいただきたいと思うんですけども、いかがでございましょうか。事前に送っていただいたので、それなりに見てはいるんですけども、ただ、今のような2つのフォーマットとおっしゃいましたけれども、この作ったものをこんな感じでどうかというのと、基本方針の指標のところ、それぞれのところで基本方針の指標とありますけれども、その指標をつくっていくプロセスを入れてみた。これでいいのかというところが1つあるということでした。

それ以外に質問もいろいろあるんじゃないかと思えますけれども、特に個別にこの項目ということではなくて、皆さんが気がついた点を言っていただくのが一番いいと思うので、どうでございましょうか。

結局、我々に課せられる課題というのは二次評価をするということになるんですけども、どうでしょうね。見ていただいて。

【伊東委員】 では、よろしいですか。

【大串会長】 どうぞ。

【伊東委員】 ご説明ありがとうございます。図書館協議会のほうで二次評価をするということは、一次評価をするのはそれぞれの所管課とか所管部門が一次評価をするということですね。その一次評価がどういう結果で表れてくるのかはよく分からないんですけども、本来、二次評価というのは、所管課あるいは所管部署が一次評価した結果が適切であったかどうかを二次評価者が見て

いくということになるので、まず、一次評価というものがどういう指標と申しますか、例えばABCで出てくるのかとか、評価基準と申しますか、そういうようなものは、今、傾向で矢印で横とか下とか上とかで出ているので、これが評価なのか、それともここに事業の結果として、例えば本館・別館エレベーター修繕というのが評価をしたことなのか、それがよく分からないんですけれども、それをどう見たらいいのかということをお教えいただきたいです。

【香川奉仕係長】 事業の結果、一体何をしてきたのかというのが1枚目の事業の結果、各施策ごとに書いているものが行った結果で、裏面の各方針に対する成果というのが、結果に対して特にこういった点を頑張りましたですとか、こういった変化がありましたというところをここで表しています。この下の指標に関しては、ABCとかですと、一定の水準の目標値があって、それに対して達成したかしてないかというようなABC評価になると思うんですけれども、今回ここはあくまでも評価指標の参考値になるので、前年と比べて上がったのか下がったのかというようなどころで見るので、矢印の方向で記載させていただいています。

最後、図書館側の一次評価としては、今年度の結果を踏まえて、来年度はこれをするとか、次につながるものであれば、次にはこれをやるという書き方ができますし、次年度すぐには取り組めないけれども、ここは常に考えていく、研究していくというものを書かせていただいているところです。

ですので、特に次に向けて図書館の方向性ですとか、特に図書館としてはここに注目して頑張ったというような、基本方針に対する成果または一次評価というところに特に注目していただいて、二次評価としましては、どちらかというところ、今まで方針ごとに図書館が行ったことに対する評価、感想でもいいんですけれども、そういったところをご記載いただければと思います。ここはよかったけれども、ここはもっと頑張ったらですとか、そういったところでもいいのかなとは思っています。そういった形で二次評価していただければなと思うので、ABC評価で一次評価でC評価を下したからもうちょっと頑張れよというようなことが今まではあったと思うんですけれども、今回は定性的な評価をメインに行っていければなと思っていますので、このような文字というか、ABCでない評価の仕方になっておりますので、その辺をご勘案していただければなと思ってお

ります。

以上です。

【伊東委員】 大体やり方は分かったんですけども、そうすると、二次評価という言葉自体があまり評価っぽくないのかなという気がします。そもそも評価というのは、目標があって、その目標に対して達成がどのくらいできたかということがそれぞれ示されて、それに対して自己評価をしたときに、指標を明示し、どれだけの段階まで行ったのかというものがあって、その自己評価した結果が適切かどうかを二次評価者がするという形が普通の評価システムだと思いますので、一次評価の仕方がこういうようなやり方であれば、二次評価というよりは、図書館協議会によるコメントとか、そういうようなレベルのものなのかなという感じはしました。あまりにも評価というと、かなりストリクトな感じがするんですけども、そういうものではないのではないかなという感じがしましたので、ある意味ではやりやすいというか、思ったことを書けばいいのかなと思いました。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。

どうぞ。

【大塚委員】 これは初年度なので、こういう流れで組み立てていただいたと思うんですが、普通、基本計画があると、各年度ごとに実施計画を立てると思うんですね。例えばイベントにしても、本館ではこういうおはなし会を年間何回予定します、貫井北は今回で、結果として予定したものがどのくらい達成されたかという実数が出てきて、それで基本計画と照らし合わせて、このくらい進捗したという組立てになるのかなと思うんですけども、単年度ごとに、図書館の中で、例えば何回かお話に出てきたデジタル化なんかも、私たちから見ると、唐突に、もう既に始まっちゃっているみたいなどころがあるので、普通、役所の仕事の仕方としては、1年間にこういうものをやりましょうという組立てをまずおつくりになると思うので、それは内部で、図書館の事務のほうでお持ちなのかもしれないんですけども、そこのところをまず、こういう計画をして、そのうちこれをどのくらいこういうふうにしたという形でお見せいただけると、私たちは評価というか、考えやすいのではないかなと思います。

これは意見なんですけれども。

【大串会長】 ありがとうございます。ほかの方いかがでしょうか。

【大久保委員】 今のお二方の意見と流れが同じなんですけれども、まず、今回読ませていただいて、ちょっとはてなという感じで、私の読み取り能力があれなのかなと思ったんですけれども、皆さんも読むのが難しいなと思っているような書面になっていたのかなというのが少し分かったんですけれども、図書館計画は5年間ということで、恐らく年度ごとに策定している事業計画というのがあるのではないかと思うんですよね。5年のうち、今年度はこれで、来年はと大枠があって、それについて令和3年度の分を今回は評価すると。その評価した結果、次年度の事業計画をよりよいものにするという目的がまずここに書かれていないなということで、5年間のうちの今年の分を評価して、次年度の計画をよりよいものにするためにこれをやっているんですということがまず伝わってこなかったです。

こちらに書かれているものが実施の結果という形で書かれているんですけれども、それはすごく丁寧に書かれていて、先ほどの黄色い「小金井市の図書館」もいつもきちんと作っていただいてとてもありがたいんですけれども、最後に今後の方向性という形で、例えばこの事業は継続するとか、こういうことを新しく始めるとか、この事業は今年でやって終了したので終了するとか、何か締まらない感じになって、せっかく一生懸命やってきたのに、この書きぶりだと伝わらないかなというところがありました。

計画なので、次年度に向けて今後の方向性がどうなのかというところを分かるような言葉で表したらいかがでしょうか。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございました。

こういう話を続けていると際限なくなるんですけれども、会長として、今までの皆さんのお話を聞いて思うんですけれども、評価の方法論というのがまず大事です。だから、基本計画をつくって、それに対してどういう方法でそれを評価するのかということを私どもに目に見える形で示していただかないと、なかなか話が前に進まないと思うんですよね。

それで、今ご意見が出たのは、例えば基本方針というのがあって、年度ごとの

方針というのがあって、それに対して年度ごとの重点計画みたいなのがあって、こういうことをやりますよというのがあって、そのこのところでこれだけやりましたというのがあって、それに対して評価をすると。できた、できないとか、よくやったとかいろいろ評価があって、そういうのを我々が全体を見て、もっとこういうこともあるんじゃないかとか、ああいうこともあるんじゃないかとか、いろいろ含めて二次評価をするという流れになるんじゃないかという感じがするんですけども、そういう評価の方法を目に見える形で、こういうふうな段取りと枠組みとこういうことで評価をしていきたいというのがあって、それで今回こういうようなフォーマットを作って、こういう指標をつくってみたんだけどどうかということと言われると、なるほどということになるけれども、今のご説明だと、その辺が見えないよというのが各委員から出されたご意見じゃないかなと思うんですね。

ですから、今年は、今、事務局として考えている一つの考え方として、こういうふうに考えてみたんですけども、どうでしょうかというのが今回のお話で、なるほど、そうかということで、今、いろいろ皆さんに言っていただいたことがありましたので、それはそれで、つくっていただいたことはいいことだし、それから、こういうふうな指標なんかも考えてくれて、二次評価をしていただいたことも、一つの試行としていいと思うんです。

ですから、今、私ども委員からいろいろ出たご意見をそしゃくしていただいて、また考えていただいて、次回になるか来年になるかは分かりませんが、考えた結果を見せていただくというふうにしたほうが、話が生産的に進むと思うんです。

ですから、その点はどうでしょう、奉仕係長。

【香川奉仕係長】 年次計画のお話、いろいろご指摘どおりかなと思っております。内部的には5年間でいつもやっている、例えばおはなし会だったりとかは、回数を増やせばいいのか、適正な数字はどうなのかとか、あとは職員とかボランティアさんの都合もあるので、そこは回数的な目標値はなかなか設定しづらいところがあるんですけども、ただ、こういったところは、ここからまず研究を始めようですか、これは継続してみようとか、ここで一旦見直しをしてみようかというようなアウトラインというか、青写真を一応持ってはいるんですね。さ

すがに方向性だったりとかはあるのですけれども、数字目標的なのは、なかなか出しづらいところがあるのですが、どこまで見やすくコンパクトにするのかというところが一つポイントかなと思ってはいるので、今日いただいたご意見を参考に、長過ぎず、コンパクトだけれども、数字的に押さえられるところは押さえたい。数字が押さえられないんだったら、こういう方向性で考えていますとか、そういったところが表現できればなと思っています。

【大串会長】 それと、我々図書館協議会の委員としては、そういう枠組みなんだけれども、日常的に活動を見ていると、もっとこういう視点もあるんじゃないかとか、こういう考え方も入ってくるんじゃないかとか、そういうこともあると思うんです。図書館協議会は住民の意見を反映する場ということであるから、必ずしも枠組みにはまらないものも出てくると思うんですよね。だから、そういうことも踏まえて二次評価をしていくという、こういうことになると思うんです。

例えば、ふさわしい事例かどうか分からないですけれども、読書についての講演をするときに、小さな子どもさんがいる方にも入っていただきたいということであれば、保育士さんを頼んで、子ども、赤ちゃんだとかを見る人をちゃんとつけて会場を設営するとか、そういうこともあるわけだよね。そのときに騒いだらどうするんだと、それは話す人に了解を取っておく、会場内で騒いでもいいんだという了解を取ってやるとか、そういうことも住民の側から見ると、意見としてあると思うんですよね。

図書館協議会の委員の中にも、そうやって日常的に見ていた場合、これについてはこういうこともあるんだよということがあるので、そういうことも含めて二次評価というのはあると思うんですけれども、いずれにしろ、またご検討いただきたいなど。

どうぞ。

【奥村委員】 いろいろと思ったところで発言させていただくんですけれども、例えば基本方針1のページで見ていったときに、最初に計画のところが入っていたら印象が変わるかなと思っていて、例えばエレベーターの修繕というのも、事前にしますというふうにやっていたのか、壊れて緊急にやらざるを得なくなったのかというところが、これだと分からないので、計画に沿ってLEDを検

討したのかどうかというところが分かるようにすると、多分、計画というののははっきり見えてきて、それでこういうふうに行ったんだというところが見えるので、計画を入れるといいのかなというのが1点。

2つ目としては、表と裏がどのようにつながっているかというのが見えにくいところがあるのかなと。2枚目に行くと、一番上にLED化の見積りをしたという検討があるんですけども、それが前のページのどこにつながっているんだろうと。例えば、施策1の2からつながっていますみたいな感じで書いてあると、こういうふうなことをやったからここにつながっているんだと、基本方針に対する成果、アウトカムというところにつながっているんだなというところが分かる。

さらに、その下の一次評価のところもどこにつながっているのかがはっきりすると、多分、LED関係ですよね、付帯設備は計画的に進めていくというところが全部つながっていて、計画があって、そこから全部、ここは1の1というつながりで最後まで、一次評価まで来ると、こういうふうにして、次のところを目指しているんだなと分かるので、その流れというのが分かるようにしてもらえると見やすいかなというところでは。

あと、一次評価のところ、だんだんと抽象化していくので、例えば「計画的に進めていく」、「検討する」、「内部で準備を進める」と言われたときに、駄目とは言えないけれども、どこまで進んだのか分からないので、そこは結構、書く側としては難しいとは思いますが、もうちょっと具体的にしてもらえるといいのかなと思っています。

というのも、今年検討すると言われて、来年度検討しないというわけじゃないだろうと思うんですけども、検討すると書かれただけだと、どこが進んで、どこが進んでいないのかが分からないので、こういうふうに方面を検討する、個数を増やすというところで書かれると、それは賛成ですとは言えるんですけども、検討すると言われると、賛成か反対かこちらも言いにくいので、検討しないでは、なかなかきつと、ないですし、内部での準備も、それこそ長くなってしまうからと分かるんですけども、評価できるようなところでの書き方で、もうちょっと具体的なほうが評価できるのかなと思います。

個人的には、表のほうは具体的なところが増えていき、以前の数字だけでの評

価ではなくて図書館でやっている具体的なところが見えるので、表のほうは、計画があればというところはあるんですけども、やっている内容がすごい分かっていいなと思っております。

気になったんですけども、市民登録者数は、例えばほかから小金井市で登録して、またほかの市に去っていったときは、その登録というのは、更新がなかったら自動的に切れたりとかはないでしょうか。

【香川奉仕係長】 住民基本台帳と連動しているわけじゃなくて、単独のもので、今月、小金井に来てくれました、半年後、別の市に行きました、だったとしても、うちの登録は4年間有効なので、市民が言い出してくれないと、4年間は私たちも、そこに住んでいますかということ聞かないので、自動的に落ちることはないです。だから、有効な図書カードを持っている市民としての枠の人数ということです。そういう点では、実数ではない。

【奥村委員】 そうすると、例えば前年度より5増えたけれども、有効が切れた方が10減って、15増えたかもしれないし、切れていないままで5増えたかもしれないしというところ、本当は100減って100増えたら、実際には100増えたと思うけれども、見た目の数でいったらプラマイゼロですというふうになってしまうのかなと思うので、もし、有効が切れたものを減らしてカウントしているんだとしたら、増加分みたいな……。

【香川奉仕係長】 あくまで有効数では見えています。だから、本当に市内在住か否かというところまでは追いかけれられないんですけども、システム上、市内在住です。

【奥村委員】 期限が切れたものを除いたりというのは。

【香川奉仕係長】 それは除く感じですか。

【奥村委員】 そうすると、例えば令和2年と令和3年で137とか増えているじゃないですか。でも、切れた分は減ったけれども、137は増えているというふうな。

【香川奉仕係長】 全然使ってなくて切れちゃいましたと、だから、有効登録者は落ちるんだけど、もう1回使いたいとなると増えちゃう。要は、人口が増えて減ってというような人口の流れには相関関係をあまり見いだせないんですけども、あくまで有効数で見えています。

【奥村委員】 ちよつと難しいんですね。

【香川奉仕係長】 難しいです。

【奥村委員】 分かりました。ありがとうございます。以上です。

【大串会長】 はい。どうもありがとうございます。

【林委員】 何点か気になる点があります。まず、3ページ目、例えば令和3年度図書館評価シート、基本方針1、誰もが利用しやすい図書館の、例えば施策3のICTを活用した図書館サービスの充実の令和3年度の結果のところ、ICTタグの導入の研究と書いてあるのですが、裏のページを拝見しても、見積りなどを事前検討したというのがありますけれども、研究に対して見積りの事前検討では違うと思いますし、ほかの委員の方も言われているのですが、研究という言葉に対応するものがないという気がいたします。

それから、その裏のところ、例えば市民登録率を見たときにも、何で比較するのがいいか分かりませんが、税金とか住民数とか、あるいは蔵書冊数とか、非常に類似した他の自治体と比較してどうなのかが必要で、小金井市さんの中だけで上がった下がっただけを見ても、評価としてどうなのかなと思います。

また、同じ一次評価のところ、自治体のいわゆるDX推進との相乗効果を念頭に置きと書いてあるのですが、自治体のDX推進は具体的に何なのかというのがあります。

また、最後のページで、貸出回転率とか蔵書回転率という言葉が入っていますが、例えば蔵書回転率にしても、委員の皆様方のご承知でいらっしゃると思いますが、これを市民の人が見たときに、貸出延べ冊数を蔵書冊数で割ったものだというのを、どこかに説明を書いてあげなければ、市民の皆様には分からないと思います。その辺りが気になったので、ご検討いただければと思います。

以上でございます。

【大串会長】 ありがとうございます。

【高橋委員】 この評価シートは、ぎゅつとまとまっているのですが、各館とか分室ごとの動きみたいなのがちょっと見えにくい。ヤングアダルトなんかをよく見ると、やっているのは貫井北分室だけみたい。展示の実施なんていうのは、全館計20回みたい、どどつとまとめて、みんなもやっているよみ

たいな感じになっているのですけれども、もう少し各館の動きというか、各館が目標に向かってどれだけやっているか、その評価がどうかというものも見たいかなという気が私はしました。

【大串会長】 ありがとうございます。どうぞ。

【大塚委員】 私も同じことが気になって、特にこのヤングアダルトの項目が物すごく気になってしまったのですけれども、例えばヤングアダルト向けイベントの実施が貫井北で1回、8人参加なのですが、一番最後の広報誌の発行、貫井北分室、これは貫井北だけを対象にした広報誌なんですか。全館で配るんですか。

イベントの実施数なんか比べると、1万1,800部という広報誌の印刷数がすごく多いような気がして、ヤングアダルトの項目全体のバランスがよくないので、別の出し方を考えたほうがいいんじゃないかなという印象を持ってしまったのですけれども。何かもうちょっと工夫をしていただいたほうがいいのか、あるいは、例えばヤングアダルト向けのサービスについては、貫井北分室が実施館になりますとか、方針としてそういうことが出ていけば、何となく読む人も納得しやすいと思うのですけれども。

そういう各分室と本館の、分担とまでは言えないけれども、それぞれの重点的に動くもの、内容というのは、まず説明されていないと分かりにくく、この数だけ出てしまうと、ちょっと奇異に感じるのではないかなと思いました。

【大串会長】 なるほど。ちょっと待ってください。この令和3年度の事業の結果という部分は、これは要するに事実を……。

【香川奉仕係長】 事実です。

【大串会長】 事実をそのまま書いたんじゃないの。

【香川奉仕係長】 こちらは、小金井の図書館をもとに事実をまず列挙しています。ですので、特にYAのところに關しては、YAサポーターを持っているのが貫井北ですので、おのずとYAのイベントだったりとかは貫井北に寄ってきてしまって、YA向けの広報誌に關しても、発行は貫井北なんですけれども、配る館としては全館に配っているのです、確かに見え方が、貫井北だけしか配らないのという見え方になってしまっているのです、ご指摘の点はそのとおりにかと思っています。

今回、4つの方針に無理やりこれを当て込んだので、ちょっとふわっとしているところもある。また、方針1とサービス部門の方針では熱量が若干違ってくるので、そこはご容赦いただければと思うのです。事実の列挙をしたのが、基本的な方針の1枚目の、表面です。

【大串会長】 だから、我々としては、事実が事実として書かれているわけだから、それはそれで評価のところでは、例えば貫井北分室しかヤングアダルトはやっていないとか、そういうことが逆にあるいは評価になるか、だから、ヤングアダルトは全館でやったほうがいいんじゃないかと。ただ、ヤングアダルトの今の取組を伺って、僕も大学で教えていたときに、教え子たちが近くの図書館のボランティアをやっていて、子どもが研究会のテーマで、そうすると、その館だけ異様にヤングアダルトが充実しているんだよね。それは、そういうふうなもの、学生グループがボランティアで来ていたから、そういうふうになったんだけど、結局、図書館全体として見ると、今度は、僕、評価の委員になったので、そういうことを全館に広げてほしいというのが評価委員のコメントになるわけじゃない。

そうすると、館のほうとしても、当然、館全体の管理者としても、その図書館の協議会の委員がそう言っていたから、ヤングアダルトサービスは、それなら全館に広げようと、こういう話になるわけですね。

だから、評価の仕方というのは、おっしゃるようであれなんだけれども、事実は事実として出していただいて、我々がそれをどう受け止めて、また、それをどう評価して、それで図書館全体をどうよくしていくのかという、こういう話になってくるわけだから、その辺は書き方として、弁解がましくなることはしないで、事実は事実として書いておいたほうがいいんじゃないかと。

まあ、それは最初の、今までいろいろとご意見をいただいたことを、私の頭の中でいろいろと整理すると、何といるのですか、資料としてつくって、それをまとめていく過程もあるから、資料としてつくる最初の原本みたいなのが、えらい膨大な模造紙、A3のもの3枚か4枚にしてくれないかと、こういう感じにもなるんだけど、いずれにしても、事務局のほうでいろいろご検討いただいて、我々の意見ももう少し参考にしながら、次のステップに進んでいただくと考えていただくのほうがいいんじゃないかと思えます。

ということで、ちょっと時間を取らせていただいたのですけれども、今、最初に事務局からお話しいただいたフォーマットをつくってみたと、それで、それに指標を当て込んでみた、これについてどうですかという話でしたから、これに対して我々もいろいろと意見が出てよかったなと思うんですけれども、今日はお互いの精神的なものもあるので。どうですか、このぐらいにしておいたほうがいいんじゃないかと、特に意見がなければこの辺でおしまいにしたいと思えますけれども、よろしゅうございましょうか。

次に、その他を議題にしたいと思えます。

館長から、その他についてご説明をお願いします。

【内田館長】 前回お話をしていただきました、協定市を除く利用者登録の見直しについてなんですが、その後の進捗をご報告だけさせておいていただこうと思えます。

当初、8月23日の教育委員会、それから、9月12日の議会の報告後に広報、周知を図りまして、新規利用登録並びに登録更新、これを停止、その後、貸出しも停止というスケジュールを立てさせていただいておりました。

既に教育委員会への報告は済ませたのですが、実は9月12日の議会への報告が議会の議事日程の都合上、延期になってしまいまして、今、9月22日に報告する予定となっております。現在、まだ市議会への報告が済んでいない状況となっております。

報告が済み次第、予定どおり広報、周知も図っていきたいと考えておりますが、前回の協議会の中で、皆様のほうから早めの実施をというご意見も多々いただいたと認識しておりますので、新規利用登録の停止に関しましては、例規改正もそれに合わせてやっているところもありますので、事務手続終了後、こちらに関しては正副会長にご確認いただいた上で、新規登録を施行日から実施させていただこうかなと考えております。

利用者登録以外のところでも皆様からご意見をいただいたと認識しておりますので、こちらについては、今現在、事務局内で検討を進めております。こちらでも正副会長にご相談させていただきながら進めさせていただこうと考えておりますので、またよろしくお願ひしたいと思えます。

引き続き大久保委員のほうから、実はこの間、ご提案というか、お問合せがあ

ったのですが、まず、児童生徒の職場体験というところで、図書館訪問ということで、図書館のほうから各中学校に発信する、そういう流れはあるのかという問合せがございましたので、お答えさせていただきませんが、図書館では、毎年度初めに市内の小中学校14校宛に図書館サービスの案内文書を送っております。その中に学校訪問、図書館訪問、あるいは見学受入れ、こういったものを発信させていただいておりますので、一応、ツールとしてはあるというところでお答えさせていただきます。

今現在、職場訪問だけではなくて、職場体験に関しましても再開しておりますので、こちら各学校からお問合せいただければなと思っております。

引き続きまして、これも大久保委員のほうから、これはご提案になっておりますが、各分室長の協議会への参加というところで、年に数回、各分室にも協議会に参加していただいて、各館の取組状況の報告、それから、協議会での審議を聞いていただくことについて、ご提案をいただいております。

ご提案については、私ども受け止めましたので、今後、関連議題のあるときですとか、年次報告など、これは日程の調整が必要になってきますが、参加させていただきよう、調整していきたいと思っております。

以上になります。

【大串会長】 ありがとうございます。

まず、大久保委員、今の説明でよろしゅうございましょうか。

【大久保委員】 メールで送って、今日こちらでご回答いただけるとは知らなかったのですが、ご回答くださりありがとうございます。

最初の児童生徒の件については、毎年、年度初めに文書で市内小学校9校、中学校5校、そちらのほうに図書館から送ってくださっているということで、それを各校の行事予定に組むかどうかは、その学校次第ということになると思います。

例えば身近な例でいうと、去年、子供が中学校2年だったので、2年生は職場体験という年度なんですけれども、コロナ禍でできないということで、今年はこれから秋冬に予定されているか分からないのですけれども、コロナでそういったことが、もう図書館さんは難しくなっちゃったのかなと、ふと思ったので、こういう流れがあるかどうかを聞いてみたいと思いました。ありがとうございます

す。

それから、各分室の長の方を協議会に、オンライン参加ですとか会場参加ですとかあると思うのですが、1回でも2回でも都合が合えば来ていただいて、協議会で取組状況の報告や、協議会のお話を聞いていただくというのも、協議会の審議が充実したものになるのではないかと思います。

先ほどもほかの委員の方からお話があったように、取りまとめとしてはこのようになるのですけれども、やっぱり各館の取組がよく見えてこないということがありまして、そういったところも、実際、顔を合わせることでコミュニケーションも取れるのかなと思います。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。

分室の方はこういう会議にそもそも出てこないのは何か理由があるのですか。

【香川奉仕係長】 特にはないです。

【大串会長】 僕の経験から言うと、大学では委託業者が幾つか入ったので、僕が図書館長じゃなくて副館長になったときに、やっぱり、そういう人がこういう図書館運営上の会議に顔を出していないと、いくら事務局から説明をしても十分意図が伝わらないし、また、その人たちがいろいろ努力されていることも、要するにこういうところに伝わらないから、今後、そのときは委託業者の運営方法の話合いをして、職員の方をこういう会議には必ず1人出してほしい、それで話をして、そういうことで、まあ、オブザーバー参加みたいになったんですけれども、そういうことで話をして来ていただいて、オブザーバーですから、

事務局の扱いともちょっと違うんですよ。ただ、意見や何かを求めるときは事務局の僕から、今のことについてご意見ございますかと聞いて、それで許可を得て話をするという方式を取ったこともあるんですよ。

だから、僕はそういう経験があったので、ここに来たときにすごく不思議に思ったんですけれども、だから、今の久保委員のご意見というのは、どういう法的な問題とか、事務処理上の問題とかがあるのか分からないですけれども、僕としては、できるだけ顔を見せていただいて、いろいろ我々も聞きたいことがあるから、だから、さっきのようなヤングアダルトの貫井北とか、ああいうので、い

や、どういうふうに行っているのと思うわけじゃないですか。だから、そういうことも含めて、ご検討いただいたほうがいいかなと思いました。ありがとうございます。

ほかに何かご意見ございますか。どうぞ。

【高橋委員】 私は介護保険の協議会にも出ているのですけれども、そうすると、小金井に4つ包括センターがありますよね。そこの方々が出てきて、こういう協議会のときには、それぞれの取組、それぞれの報告、進捗状況みたいなのを4包括の方が発表されたり、資料を投影したりとか、多分、そうすると4つの動きがほかの方も分かります。その中で、どう調整するかとか、そうやって、いいように回っていくようにも思いますので、とてもいい取組だと思います。ぜひ、ご検討いただければ。

【大串会長】 何か法的な問題とか、いろいろあるときはあるので。

【高橋委員】 予算とかですかね。

【大塚委員】 形式とか契約の形とか、枠組みによっては出られないみたいなルールがあるところもある。それで出られなかったという話を聞いたことがあります。

【大串会長】 何かそういう部分も含めてご検討いただいて。

【大塚委員】 でも、差支えなければ、やはり出席していただいたほうがいいと思います。

【大串会長】 ほかに何かございますか。

では、そろそろ、その他も含めてこれで終わりということになるのですけれども。

どうぞ。

【大塚委員】 それ以外、余計なことかもしれないのですが、資料の中にあつた専門スタッフの専門性の向上のところ、いわゆる外部研修の参加が難しいというコメントがあつたのですけれども、余計な話なんです、国立国会図書館なんかですと、YouTubeでオンライン研修をものすごくたくさん実施しているんですね。レファレンス研修なんかメニューがかなり豊富なので、例えば参考図書の説明とかは、私は学生にも勧めていたりするので、行って参加するという以外にも、割に図書館関係は、今、ZOOMとかオンラインの形式がす

く増えているので、職員の方がそういう研修に参加するような機会が、そうすると、例えば完全に無料で、フリーで参加できるものは、例えば仕事の時間中に一定のルールをつくって聴講するというのを許可をすとか、何か考えてあげられるといいんじゃないかなと思いました。

全然、例にはならないかもしれないですけども、例えば国家公務員の場合、ワードとかエクセルが入ってきたとき、2000年、特に年齢がっている人は大学なんかではそんなことはやってきていない。だけど、文書をつくるにはワードとエクセルが必要。そのときは、実は、各省庁全員オンライン研修の枠ができて、じゃあ、あなたはこの3か月間に自分の業務時間中にここにアクセスして、何ポイント何ステップの研修を受けましょうという、そういうのを全員やっていたんです。

部局によっては、例えば広報でこのツールが必要ですか、イラストを描くツールが必要な人はその研修にという、研修の内容を人事のほうがちやんと登録して、それを全部時間内で、オンラインでやっていました。実際、そうだったので、何かオンライン研修の機会がこれだけたくさん出ているので、パソコンと、あと何かきっかけが要るとか、図書館関係だといろいろ有料の場合もあるのかもしれないけれども、無料のものもたくさんあるので、何か職員の方で話し合っていて、自分が興味のある研修を受けられるような仕組みを考えていただいてもいいのかなと思いました。

【大串会長】 なるほど。貴重なご意見ありがとうございました。

これは事務局のほうでご検討いただいて。ありがとうございます。

ほかにご意見ございますか。どうぞ。

【奥村委員】 ちょっとだけでもやっとしていることがあって、もう、調べなくてもいいのですけれども、個人的に、今、利用者登録の見直しというところがあったので、例えば他市で予約して本を借りるときに、延滞している本があると借りられませんとかというふうに、ルールがあったりして借りれないのですけれども、小金井市は別に延滞しても借りられますか。

【大串会長】 どうぞ。

【香川奉仕係長】 奉仕係長です。今、4週間延滞していると、それは駄目なんです。

【奥村委員】 駄目なんですね。分かりました。

【香川奉仕係長】 なので、ほかの図書館も延滞していると駄目なんですけれども、その期間がうちはちょっとおおらかというか。

【奥村委員】 分かりました。利用者にとっては、便利は便利なんですけれども、そうすると予約しているのがなかなか回ってこないかなと思ったので。ありがとうございます。

【大串会長】 なるほど。ありがとうございました。

ほか、いかがですか。もうなければ、これで。どうぞ。

【藤森委員】 すみません、長くなっちゃって。質問なんですけれども、小金井市の図書館には分館が幾つかあって、それぞれ特徴があると思うのですが、そういう分館同士と本館と、全部合わせての話合いというか、そういうことは持たれていますか。

【大串会長】 事務局、いかがですか。

【内田館長】 月1回、必ず月初めには全体会というのをやっていますし、毎週必ず選書会議があるので、それぞれの館のトップが集まって選書していますので、そこでの重要事項というのは、私のほうからも連絡を共有させていただいているようなところです。

【藤森委員】 ありがとうございます。

【大串会長】 ほかにございますか。どうぞ。

【大久保委員】 時間が延びて申し訳ありません。この進捗管理の表は、次回も継続になりますか。

【大串会長】 どうですか。

【香川奉仕係長】 次の11月25日に提案できるかは難しいのですが、これで終わりじゃなくて、今日皆さんにご意見いただいたので、一旦、事務局のほうで、もう一度工夫してみます。工夫が少し形になったら、また皆さんにお諮りさせていただくので、継続審議をお願いします。

【大久保委員】 かしこまりました。次回協議会まで2か月ぐらいあるので、今、皆さんから質問も出たので、私も便乗して、気がついたところがあったので、林先生からもご意見がありました、このICタグ導入の研究というのは、市民から要望が前から出ている自動貸出機の件だと思うのですが、これもずっ

とやられていて、予算が大変ということで、実施ができないということで、前も聞いたような気がするのですが、一旦、ここで研究ですとか、実情ですとか、結果を公表するという形で、ここまで検討してきたということを一回出したほうがいいんじゃないかなという気がします。

このICタグというのは、自動貸出機のことかもよく分からないかもしれない人もいると思うので、ということと、あと、自治体DX推進というので、今の市のほうでも行財政改革の流れでこういうことを進めているということは市民としても注目しているのですけれども、具体的に図書館ではどのようなICT活動をしていこうとしているのか、そういうことによって市民の図書館活動がどれだけ有益になるのかということ、多分、それが研究を進める目的だと思うので、もう少し具体的に何の研究を進めるのかというものも、もしあれば書いていただいたほうが分かりやすいかと思います。

それから、図書館サポーターで、ハンディキャップ・サービスの拡充のためにも、新規サポーター（宅配）の育成の研究が必要というのは、これは本をおうちへ届ける方のことですかという、その点です。以上。

【大串会長】 ありがとうございます。一番最後の部分。

【香川奉仕係長】 図書館サポーターで、特に宅配の関係は、ほかの自治体さんでも、図書館から対象者のご自宅に届けるサポーターの方、その場合はボランティアの方になります。小金井市でもやればなと思っていますが、直にその家に行くに当たって、ボランティアの方でいいのかとか、心配事もあるので、そこそ実際に行っているところで、ちょうど小平がやっているの、今度いろいろ、そこら辺を聞いてみたいなどは思っています。一応、想定しているのは、ご自宅に持って行っていただく方を想定はしています。

以上です。

【大串会長】 なるほど。

【大久保委員】 ありがとうございます。

【中島庶務係長】 大久保委員、ありがとうございます。

ICタグや自動貸出機とか、予算の関係がというご意見があったので、私どもの必要な予算のほうは、どうしても財政当局に要求という形で上げて、予算の確保ができないと、マンパワーの工夫だけでは、本当に金額がかかるものについて

は取り組めないのが実態となっております。

まさしく I C タグや自動貸出機というのは、職員が頑張っても工夫しても、どうしても導入できなくて、お金がかかるもの、そういった部分の取組というのはどうしても出てきますので、もし、こういう図書館協議会の委員の方から、ぜひ、導入すべきとか、そういったご意見等があれば、私たちもそちらをきちんと予算の要求時に添えながら、市長部局の財政当局に要求を上げていく形で考えておりますので、ぜひ、ご意見等あれば、積極的にいただければと考えております。

私からは以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。

【大久保委員】 ありがとうございます。そのようなことなのですね。理解いたしました。

【大串会長】 ほかにどうですか。事務局、今のご質問、3点あったのですけれども、何かございますか。

なければ、協議会としては、今日はこれぐらいでおしまいということで。事務局から何かあれば。

【内田館長】 ございません。

【大串会長】 では、今日はどうも長い時間ありがとうございました。

— 了 —